

講演要旨

『ミズクラゲは海の中でどうやって群れを作るのか？』

水族館で大人気のミズクラゲですが、夏に沿岸域で大発生することがあり、大規模で高密度な群れが漁業の妨げ、生態系への影響、発電所取水口の閉塞などさまざまな問題を引き起こします。しかし、遊泳能力の乏しいミズクラゲは、どうやって群れを作っているのでしょうか？本研究では、魚群探知機による観測や数値シミュレーションによってそのメカニズムを検討しました。その結果、海水の流れなど物理的要因だけでは説明できない群れの形が見つかり、クラゲの遊泳も加わった複合的な要因によっても群れを形作っている、という可能性が示唆されました。